

高等学校 令和5年度 (2学年用)

教科 教養 科目 パソコン実務

教科: 教養 科目: パソコン実務 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第 2 学年
 教科担当者: (影山)
 使用教科書: (実教出版株式会社 パーフェクトガイド情報)
 使用教材: (プリント 等)
 単元の目標:

- 【知識及び技能】 情報機器と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身につけているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関りについて理解している。
- 【思考力、判断力、表現力等】 事象を情報機器とその結びつきの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会との関りについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報機器と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

評価規準:

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
情報機器と情報技術を問題の発見や解決に活用するための知識や技術を身につけている。情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりを理解することができる。	事象を情報機器とその結びつきの視点から捉えることができる。問題の発見や解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いることができる。	情報社会との関わりについて考えることができる。問題の発見や解決に向けて主体的に情報機器と情報技術を活用し、自ら評価し改善することができる。

評価方法と割合:

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
・制作物(課題等)(80%) ・小テスト(20%)	・制作物(課題等)(80%) ・小テスト(20%)	・意欲的に学ぼうとする態度・自己評価等ふりかえりの状況(100%)

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード (指導項目・内容)	知	思	態	評価の方法	実績(実施日)							配当時間	評価		
								1組	2組	3組	4組	5組	6組	7組				
1	4	・文書処理ソフトの基本操作	・ファイル名やフォルダ名など、保存する場合のルールを決め、様々な文書を作成することができる。	○		○	・授業内での課題提出 ・小テスト ・振り返りシートの記入									4		
	5	・定型文書の作成	・基本的な項目や型を理解することができる ・誰が見ても見やすく、わかりやすい文書を作成することができる。 ・基本的な文書の構成と、設定方法について理解することができる。	○	○	○	・授業内での課題提出 ・小テスト ・振り返りシートの記入									6		
	6	・視覚的な情報伝達	・文字だけではなく、写真やイラスト、図形などを挿入することができる。 ・視覚的にわかるチラシやポスターを作成することができる。			○	○	・授業内での課題提出 ・小テスト ・振り返りシートの記入									8	
	7	・情報整理と伝達	・誤字や脱字がないか、論点がずれていないかを自ら見直しをすることができる。 ・文書処理ソフトの機能を使い、情報をわかりやすく伝えることができる。	○			○	・授業内での課題提出 ・小テスト ・振り返りシートの記入									4	
2	9	・表計算ソフトの基本操作 ・表作成のための工夫	・表計算ソフトの基本的な使用方法を知ることができる。 ・罫線を引くことや、重要な箇所に色を付けるなど、作成した表を見やすくすることができる。	○			○	・授業内での課題提出 ・小テスト ・振り返りシートの記入									8	
	10	・関数の利用	・関数の種類を知り、どのように使うかを理解することができる。 ・関数を使用し、様々な資料を作成することができる。	○	○		○	・授業内での課題提出 ・小テスト ・振り返りシートの記入									8	
	11	・グラフの作成 ・データの並べ替えと抽出	・表で作成した内容を視覚的に表現することができる。 ・グラフを正しく作成することができる。 ・条件に合うデータだけを抽出することができる。	○			○	・授業内での課題提出 ・小テスト ・振り返りシートの記入									8	
	12	・データの集計と分析	・ピボットテーブルを活用できるようになる。 ・データの集計と分析に関する様々な方法を理解することができる。				○	○	・授業内での課題提出 ・小テスト ・振り返りシートの記入									6
3	1	・プレゼンテーションソフトの基本操作	・自分の考えを伝える手段として、プレゼンテーション資料を活用することができる。	○			○	・授業内での課題提出 ・小テスト ・振り返りシートの記入									6	
	2	・オブジェクトの挿入と編集	・画像やグラフなどのオブジェクトを挿入することができる。 ・効果的なプレゼン資料を作成するためにどのような工夫ができるかを考えることができる。	○	○		○	・授業内での課題提出 ・小テスト ・振り返りシートの記入									6	
	3	・効果的なプレゼンテーション	・プレゼンテーションに抑揚をつけて魅力あるものにすることができる。 ・人前で発表をすることができる。	○	○		○	・授業内での課題提出 ・小テスト ・振り返りシートの記入									4	

高等学校 令和5年度（2学年用）

教科

教養

科目

ブリッジ

教科： 教養 科目： ブリッジ 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組
 教科担当者： 金子 佐々木
 使用教科書： ()
 使用教材： (Classi 「学習動画」)
 科目の目標

- 【知識及び技能】 各自が大学・専門学校受験に必要な科目、また進学後に必要となる知識を身につける
- 【思考力、判断力、表現力等】 他者と協働学習することで、コミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の育成を目指す。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自らのつまずきを自らの力で克服する態度を育み、わかることの喜びや努力することの価値を見いだす。

評価規準：

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
①4年制大学進学後の学びでも知識不足とならないように、学び直しを踏まえた発展的な学習内容を理解している。 ②継続学習の本質を理解し、粘り強く学習することで学習項目を理解することができる。	①国語・数学・英語・理科・地歴公民について、学習内容の理解定着をねらいとした復習を重ねることができる。 ②学習内容に積極的に取り組み、自らの学力を向上させる努力を継続することができる。	①国語・数学・英語・理科・地歴公民の学習で得た知識等を活用し、事象の考察や問題の解決に活用しようとしている。 ②継続学習において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。

評価方法と割合：

【知識・技能】 全体の3分の1	【思考・判断・表現】 全体の3分の1	【主体的に学習に取り組む態度】 全体の3分の1
①問題クリア数50% ②取り組み問題数50%	①動画視聴数50% ②視聴時間50%	①学習に取り組む状況・ふりかえりの状況100%

学期	月	具体的な指導目標	アキルスタンダード (指導項目・内容)	知	思	態	評価の方法	実績(実施日)						配 当 時 間	評 価
								組	組	組	組	組	組		
1	4	国語 語句の意味の理解 漢字の理解 小説読解理解 評論 全体把握	①月初めに月ごとの学習計画の見直しを持つ ②Classi学習動画の視聴 ・動画の内容をワークシートにまとめる ・理解度確認テスト ・自ら問いを立てる ③②を基に、学んだ内容を他の生徒に説明する(学習内容のアウトプット) ④受講者同士で教え合うことで理解を深める ⑤授業の最後に学習到達度を確認することをし、次時以降の学習の調整をする。	○	○	○	動画視聴数 試験時間(分) 取組問題数 問題クリア数								
	5	数学 数と式 整式の展開 3つの項の平方の展開 因数分解 絶対値		○	○	○	動画視聴数 試験時間(分) 取組問題数 問題クリア数								
	6	英語 いろいろな文型 文の種類 比較級・最上級の用法 完了形 群動詞		○	○	○	動画視聴数 試験時間(分) 取組問題数 問題クリア数								
	7	理科 運動と力仕事とエネルギー 力学 波動 電磁気 物質の変化		○	○	○	動画視聴数 試験時間(分) 取組問題数 問題クリア数								
2	9	地公 宝歴・天明期の文化 開国と幕末の動乱 明治維新 民権運動と憲法制定 議会と政党	①月初めに月ごとの学習計画の見直しを持つ ②Classi学習動画の視聴 ・動画の内容をワークシートにまとめる ・理解度確認テスト ・自ら問いを立てる ③②を基に、学んだ内容を他の生徒に説明する(学習内容のアウトプット) ④受講者同士で教え合うことで理解を深める ⑤授業の最後に学習到達度を確認することをし、次時以降の学習の調整をする。	○	○	○	動画視聴数 試験時間(分) 取組問題数 問題クリア数								
	10	国語 古文読解基礎 古文文法 現代語訳のポイント 漢文読解基礎 漢文句法 書き下し文		○	○	○	動画視聴数 試験時間(分) 取組問題数 問題クリア数								
	11	数学 不等式 集合と命題 分母の有理化 2次関数のグラフ 2次方程式と2次不等式 三角比の値		○	○	○	動画視聴数 試験時間(分) 取組問題数 問題クリア数								
	12	英語 仮定法 不定詞 時制(その他) 分詞構文 関係詞 接続詞		○	○	○	動画視聴数 試験時間(分) 取組問題数 問題クリア数								
3	1	理科 無機物質 生物と遺伝子 生命現象と物質 生物の進化と系統 電気 生態と環境	①月初めに月ごとの学習計画の見直しを持つ ②Classi学習動画の視聴 ・動画の内容をワークシートにまとめる ・理解度確認テスト ・自ら問いを立てる ③②を基に、学んだ内容を他の生徒に説明する(学習内容のアウトプット) ④受講者同士で教え合うことで理解を深める ⑤授業の最後に学習到達度を確認することをし、次時以降の学習の調整をする。	○	○	○	動画視聴数 試験時間(分) 取組問題数 問題クリア数								
	2	地公 護憲運動と政党政治 地球環境問題 青年期 宗教と人々の生活 経済成長と景気変動 貿易と国際収支		○	○	○	動画視聴数 試験時間(分) 取組問題数 問題クリア数								
	3	5教科のまとめ		○	○	○	動画視聴数 試験時間(分) 取組問題数 問題クリア数								

